慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ソリューションのビジネスモデル : ホギメディカルの事例
Sub Title	
Author	梶谷, 奈央(Kajitani, Nao) 磯邊, 剛彦(Isobe, Takehiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2509号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2509

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学籍番号	氏名
80930172	梶谷 奈央

主査	副査 1	副査 2
磯辺 剛彦	青井 倫一	浅川 和宏

研究テーマ

ソリューションのビジネスモデル
―ホギメディカルの事例 ―

内容の要旨

ホギメディカルは「ソンタラ」と呼ばれる不織布を用いた手術用ガウンやドレープ (手術台を覆うシーツ) などを製造するメーカーで、医療用不織布でシェア 7 割を誇る最大手であり、1961 年の会社設立以来 45 期連続で増収を続けている成長企業である。

同社の営業社員は現場のニーズを把握するために実際に病院で手術に立ち会うことも多く、そこで手術の非効率性という問題に気づいたという。手術の準備をするために病院では通常数千点の部材の中からその手術に必要なものを数十点、数百点と選び出して手術室に並べるのだが、大手術ともなると前日から準備に取り掛かるため、準備に人手をとられるし当然手術室はその間使えなくなる。また手術開始後に部材が足りないことに気づいてその間手術が中断するというようなことも少なくないという。

ホギメディカルはここに目をつけ、一回の手術に必要な部材をひとつにまとめた「手術用キット」の販売を 1994 年から開始した。このキットを使用すれば手術の直前にキットを開梱して並べるだけなので、準備を含めた手術に要する時間を大幅に短縮することができる。そのため、この手術用キットを導入した病院では年間の手術件数が大幅に増加したという。また、病院としては必要な部材を手術の都度注文すればよいので部材の在庫管理も不要になるし、キットは同社の工場で滅菌処理のうえパックされて直送されて来るので衛生面でも安心というメリットもある。

同じ手術であっても、病院ごと、あるいは医師ごとに使用する手術用具が異なるため、手術用キットは完全カスタムメイドである。そのため同社は電子滅菌設備と完全自動化された配送設備を併設した工場を建設、約 5 万種類に及ぶ手術部材から注文に応じてロボットが必要な部材をピックアップしひとつのキットに梱包する。納期は注文から最短 4 日を実現している。

さらに、ホギメディカルは 2004 年から、専用回線で同社のコンピュータと接続された専用端末と常駐スタッフを契約先の病院に提供する「オペラマスター」というシステムの受注を開始した。病院側はこのシステムを導入することで、上述の手術用キットの発注のみならず、手術にかかわるスケジュール管理、原価管理、人員管理もできるようになるため、病院の経営改革の強力なツールとして期待されている。